

市民ワークショップ企画（案）

1. 実施の意義
2. 実施概要
3. 周知

2023（令和5）年8月29日（火）
第2回 策定委員会

1. 実施の意義

(1) 実施目的

- 中心市街地の活性化の実現に向けた取組を進めるにあたり、居住者や観光客が抱えるまちの課題や、今後のまちづくりや事業に係る意見を把握し、計画策定の基礎調査及び施策・事業検討の材料とすることを目的とする。
- 住民及び関係事業者から実際の声を収集すると同時に、ワークショップを通して今後の中心市街地活性化に関する活動の人脈形成及び当事者意識や主体性の向上を図る。

(2) 結果の活用先

- 中心市街地に関する課題認識、生活者及び観光客目線のニーズ把握、中心市街地を活性化させるための事業アイデアについて、計画に反映する。

(3) 実施にあたる留意点

- 実施時間が1時間半と限られているため、有意義な協議を行うことが出来るよう工夫が必要である。そのため、少人数でのグループ構成、ポストイット等のツールの活用、具体的な意見の例示等により、円滑な意見交換を可能とする。
- 受付時の検温、マスク着用、アルコール消毒の実施等、感染症対策を行う。

2. 実施概要

(1) 実施概要

- 下表のとおり、実施概要を示す。
- 参加者の募集時、全2回参加可能な参加者を出来るだけ募集するようにする。

#	実施日時	テーマ	参加者案
第1回	9月23日（土） 14:30～16:00	中心市街地における問題とまちの将来の姿 ～生活者と観光客の視点から～	地域住民（子育て世代、高校生、高齢者等）・事業者
第2回	9月30日（土） 14:30～16:00	中心市街地の活性化のための取組 ～生活者と観光客の視点から～	地域住民（子育て世代、高校生、高齢者等）・事業者

(2) グループ構成

- ・ 地域住民、事業者の混在したグループ構成とし、1グループは4～5人構成とする。

2. 実施概要

(3) 1回目（9月23日）の流れ

■ 以下の流れで実施する

	ワークショップの流れ	内容	時間
1	事務局挨拶・趣旨説明	事務局よりワークショップの趣旨を説明	10分
2	自己紹介	グループに分かれて自己紹介（1分/人×4～5人）	5分
3	セッション1 グループワーク （中心市街地の問題）	中心市街地における問題を地図上にポストイット等を使って示す ・ 前半15分：生活者の立場で考える ・ 後半15分：観光客の立場で考える	30分
4	セッション2 グループワーク （将来のまちの方向性）	問題を踏まえ、どのようなまちにしていきたいか、まとめる	20分
5	発表	各グループでまとめたシートを使って、グループ議論した結果を全体発表（各グループ5分）	20分
6	次回の案内・ 事後アンケート	・ 次回開催の案内を行う ・ ワークショップの感想や、時間の制限により意見できなかった内容等を把握するため、事後アンケートを実施	5分

2. 実施概要

- 中心市街地の問題と、問題を踏まえたまちの将来像について議論し、地図上にポストイット等を使ってまとめる。

セッション1：個人ワーク（中心市街地の問題）【30分】

小セッション①（15分）

- 中心市街地に生じている問題について、生活者の立場（地域住民、事業者）で考える。

例）普段の買い物ができる場所がない

小セッション②（15分）

- 中心市街地に生じている問題について、伊賀市に来る観光客の立場で考える。

例）上野城以外で観光客が行きたくなるポイントがない

★意見交換する際の観点

- 国内・国外からの観光客別にどのような問題があると考えられるか
- 観光客が1日観光を楽しめる中心市街地とするために、何が不足していると考えられるか
- 上野城エリアと城下町エリアを周遊してもらうためには何が必要か
- どんな資源があるか、十分に活かせていない資源はあるか
- 中心市街地周辺の居住者が減少、県内外に転居する人が多い状況が生じている要因として何が考えられるか



▲中心市街地の問題、将来像のとりまとめのイメージ
出典：徳島市資料

セッション2：グループワーク（将来のまちの方向性）【20分】

- 今後、どのようなまちにしていきたいか、どのようなまちの姿を目指したいか考える。

例）だれもが暮らしやすいまちにしたい、観光客が1日歩いて楽しめるまちにしたい

★意見交換する際の観点

- どのような中心市街地になれば、セッション1で挙げられた問題や課題を克服し、中心市街地を活性化（賑わい創出）を実現することができるか
- ターゲット（自分の立場、観光客）別では何が考えられるか

2. 実施概要

(4) 2回目（9月30日）の流れ

■ 以下の流れで実施する


	ワークショップの流れ	内容	時間
1	事務局挨拶・趣旨説明 前回の振り返り	事務局より前回の振り返りを中心としたワークショップの趣旨を説明	10分
2	自己紹介	グループに分かれて自己紹介（1人1分×4～5人）	5分
3	セッション1 個人ワーク	「住みやすいまちにするためのアイデア」「来訪者が楽しめるまちにするためのアイデア」の2テーマで、自分たちやプレイヤーでチャレンジできそうなことや、やってみたいことをアイデアシートにまとめる。	20分
4	セッション2 グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 個人でまとめたアイデアについてグループで意見交換 住みやすいまちにするためのアイデア及び来訪者が楽しめるまちにするためのアイデアの2視点から、意見交換の結果を踏まえ1シートにまとめる 	25分
5	全体発表	<ul style="list-style-type: none"> グループワークで行った議論の内容を発表 他のグループのアイデアに対して、発展可能なアイデアがあれば、コメントする 	20分 ※（発表3分＋質疑2分）×4グループ
6	事後アンケート	ワークショップの感想や、時間の制限により意見できなかった内容等を把握するため、事後アンケートを実施	5分

2. 実施概要

- まちづくりのアイデアを議論し、グループごとにポストイット等を使用して意見交換を行う。

セッション1：個人ワーク【20分】

- 前回のワークショップの内容（まちの課題や将来の方向性）を踏まえ、「住みやすいまちにするためのアイデア」「来訪者が楽しめるまちにするためのアイデア」の2テーマで、自分たちやまちのプレイヤーでチャレンジできそうなことや、やってみたいことをアイデアシートにまとめる。
- アイデアシートは、生活者視点と来訪者視点別のシートを2種類用意する。
- なお、一般市民に向けて、本市や他自治体で行われている事例をもとにメニュー例を示すことで、考えやすくする。

徳島市中心市街地活性化基本計画（ひょうなんふいんたーまーけーたーワークショップ） 「徳島らしさ」を「阿波文化」につなげるアイデアシート	
アイデア	
コンセプト	具体的な場所 
活用する「資源」	
具体的な内容	いつ（曜日、時間帯、季節）、どこ（施設や場所）、誰がやるのか など
関連するイベント・お店・人	関係すると思うイベント、お店、関わってほしい人・団体
7/77実施に必要なもの	

「生活者が住みやすいまちにするためのアイデアシート」
「来訪者が楽しめるまちにするためのアイデアシート」
の2種類を用意

- ・ アイデア
- ・ 活用する資源
- ・ 実施エリア
- ・ 関連するイベント・店・人
- ・ 実施に必要なもの・こと
- ・ 自分にできそうなこと

▲アイデアシートのイメージ 出典：徳島市資料

セッション2：グループワーク【25分】

- グループ内でアイデアシートについて意見交換を行う。※意見は付箋に書き込む

★意見交換する際の観点

- いいと思うところ、改善点
- 協力できるところ、連携できるところ
- プラスアルファのアイデアや情報の共有



▲アイデアシートの意見交換とりまとめのイメージ 出典：徳島市資料

3. 周知

- 伊賀市ホームページにて募集開始 <https://www.city.iga.lg.jp/0000011358.html>
- 広報いが9月号に募集記事掲載
- ウィークリー伊賀市 8月28日（月）～9月3日（日） おしらせコーナーにて配信

中心市街地活性化に向けたワークショップ参加者募集！

[公開日：2023年8月23日] [更新日：2023年8月23日] ID:11358

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

中心市街地活性化に向けたワークショップの参加者を募集します

中心市街地の活性化・にぎわいの創出に向け、皆さんにご意見を出し合ってくださいワークショップを開催します。

とき

9月23日（土）・30日（土）

いずれも午後2時30分～4時（受付は午後2時～）

※原則、両日とも参加できる人を優先します。

ところ

ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

対象者

- ・ 市内在住・在勤・在学の人
- ・ 近隣市町村在住の人

定員

40人程度

（応募多数の場合は抽選）

申込方法

以下の応募フォームに必要事項を入力の上、応募してください。

[中心市街地活性化に向けたワークショップ応募フォーム（別ウィンドウで開く）](#)



こちらの二次元コードをスマートフォン等で読み込むと応募フォームが立ち上がります。

申込期限

9月15日（金）午後5時